



# 世界で最も おそろしい兵器

核兵器はこれまでに作られた中で最も破壊的で無差別かつ非人道的な兵器です。たった一発の爆弾で都市全体を破壊できるほどの威力があり、数十万、あるいは数百万人もの命を奪う力を持っています。

赤十字国際委員会は、核兵器について次のように述べています。「その破壊力の大きさ、人間に言葉にできない苦しみをもたらす点、そして環境や将来世代、さらには人類の存続そのものに対する脅威において、他に類を見ない兵器である」

核兵器は膨大な放射線を放出し、大気、土地、水、そして私たちの身体を汚染し、国境を越え、世代を超えて被害をもたらします。

核兵器が存在し続ける限り、再び使用される現実的な危険は消えることはありません。そしてひとたび使われれば、その影響は壊滅的なものとなり、紛争とは無関係な国の人々にとっても同様です。

## 核兵器の影響

### 熱線



核兵器が爆発すると、極めて強烈な熱線が放出されます。爆心地付近にあるほとんどすべてのもの、そして人びとは、瞬時に灰や蒸気となってしまいます。

中心部の温度が100万度を超える巨大な火球が空高く上昇し、地表温度も数千度に達します。これは太陽の表面よりも高温です。

この強烈な熱は広範囲にわたって火災を引き起こし、有毒な煙や燃焼ガスを大気中に放出して、それらはやがて一体となり、巨大な火災旋風を生み出します。

爆心地から数十キロ離れた場所にいる人びとでさえ、命に関わる深刻なやけどを負い、さらに遠くにいる人びとも、閃光によって視力を失うことがあります。

### 爆風



核兵器はまた、衝撃波と呼ばれる、巨大で高速で動く空気の壁を発生させ、数キロにわたって外側へと広がります。

その衝撃波は人びとを空中に投げ飛ばし、気絶させ、身体を引き裂き、肺を破壊します。

建物は広範囲にわたり完全に破壊され、多くの人々は押しつぶされて命を落とします。周囲の物はまるで飛来物のように空中を舞います。

大きなコンクリートや鉄骨の高層ビルでさえ、爆風の力で破壊されます。

### 放射線



爆発を引き起こす核分裂反応は、大量の電離放射線を放出し、人体の深部にまで入り込み、細胞を破壊または損傷させ、さまざまな病気を引き起こします。

爆心地から数十キロ離れた場所でも、急性放射線症で死に至るほど人々は高い放射線量を受けます。

症状としては嘔吐、歯茎の出血、下痢、脱毛などがあります。多くの人は発作から数ヶ月以内に死亡します。

中には急性期から回復する人もいますが、放射線の後遺症によるがんやその他の病気により、数年から数十年後に亡くなります。

被爆者の中には染色体異常やその他の遺伝子損傷を起こし、将来の世代へと受け継がれる可能性もあります。

## 放射性降下物



核兵器は巨大なキノコ雲を作り出し、放射性の塵や破片を円柱状に吸い上げ、大気中に放出します。

それらは風の流れて空気中に散らばり、最終的には広大な範囲に降りかかり、地表へと降り注ぎます。

これが放射性降下物であり、爆心地から遠く離れた人々にも即時かつ長期的な健康リスクをもたらします。一部の放射性同位元素は長年にわたり有害であり、土壌、水、食料を汚染し続けます。

## 電磁パルス



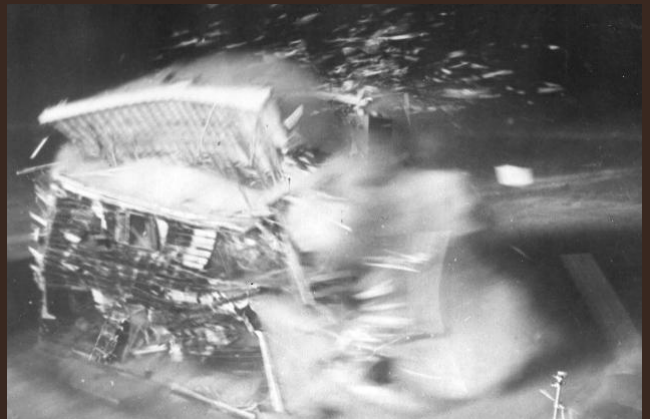
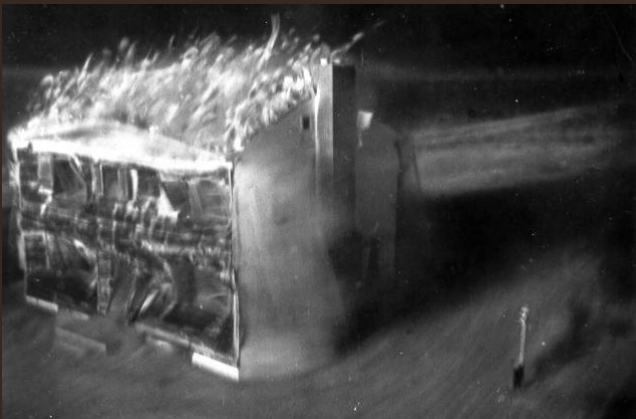
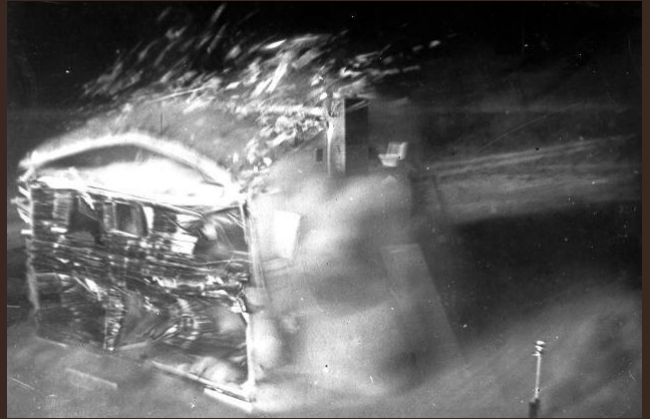
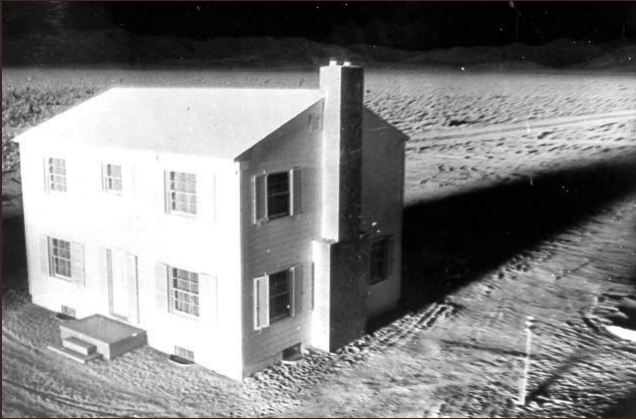
高高度で爆発すると、核兵器は強力な電磁パルスを放出し、広範囲にわたって電子機器を破壊します。携帯電話通信、インターネット機能、銀行システムはすべて深刻な障害を受けます。

この影響は大気圏および高高度核実験の時代に初めて観察されました。1962年、アメリカが太平洋のジョンストン環礁上空約400キロで核兵器を実験した際、1,450キロ以上離れたハワイの街灯や電話に被害が出ました。

非常に高威力かつ高高度の核爆発は、大陸全体の電子機器を破壊する可能性があります。



ガスマスクはガンマ線による放射線から身を守ることはできません。  
出典：リッキー・ピットマン



アメリカ・ネバダ州で行われた核実験において、模擬住宅に及んだ爆風の影響。出典：アメリカ政府

## 子どもたちの脆弱性

核兵器の影響に対して特に脆弱なのは乳幼児や子どもです。

子どもは大人と比べて、やけど(皮膚がより薄く繊細であるため)、爆風によるけが(身体が比較的弱いため)、そして急性放射線症(成長し分裂している細胞が多いため)によって、いのちを落とす可能性が高いとされています。

また、倒壊した建物や火災の中から脱出したり、その後に生存率を高めるための行動を取ることも難しくなっています。



1945年、長崎への原爆投下後、やけどの治療を受ける子ども。出典：富重安雄

## 核の冬と飢餓

核兵器は、地球上のすべての複雑な生命を破壊しうる、唯一の装置です。

もし100発以上の核兵器が都市に使用された場合、その後に発生する大規模な火災によって生じるすすや煙が地球全体を覆い、10年以上にわたり太陽光を遮ると考えられています。その結果、地球の気温は大幅に低下し、「核の冬」と呼ばれる現象が引き起こされるおそれがあります。

暗闇に包まれた世界では、現在は熱帯である地域でさえ氷点下の環境となります。食料作物は壊滅的な被害を受け、世界の食料生産は崩壊し、その結果、広範な飢餓と社会の崩壊が引き起こされます。

感染症の流行や、限られた資源をめぐる争いも広がります。すでに栄養状態が悪い人びとほど、命の危険にさらされます。

たとえ「限定的」と呼ばれる核戦争であっても、世界に存在する核兵器のごく一部が使われるだけで、多くの人びとが飢餓の危機に直面します。

このような戦争はオゾン層を深刻に破壊し、特定のがんの増加や海洋生態系の深刻な破壊をもたらします。多くの動植物が絶滅の危機に直面し、地球への被害は取り返しのつかないものになるでしょう。

## 避難と経済の崩壊

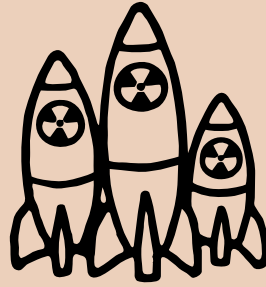
核戦争では、放射性降下物にさらされた何百万人もの人々が、避難所、汚染されていない食料、水、医療を切実に必要とし、隣国への避難を余儀なくされるでしょう。避難を求める人々の数は歴史上前例のないものになるでしょう。

複数の核兵器の使用は国際貿易や通信網に深刻な混乱をもたらし、世界的な経済崩壊を招く可能性があり、貧困を悪化させ、人類開発目標を数十年後退させる可能性があります。

どの国もどの個人も、その潜在的な影響から免れることはできません。

## 地球規模の気候への影響

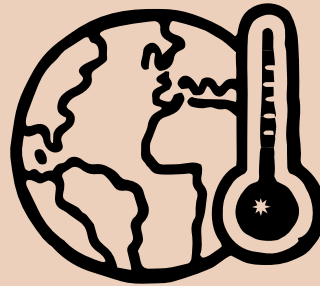
複数の核兵器が使用されます。



すすや煙が日光を遮ります。



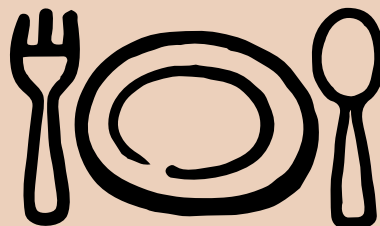
地球全体の気温は劇的に低下します。



農業生産は崩壊します。



何百万人もの人びとが飢餓によって命を落とします。





廃墟となった広島。出典：アメリカ政府